

2017年5月29日

伊藤忠ロジスティクス株式会社

インドネシア現法の PT.ILC 社 第二物流センター建設について —現地における物流機能・ネットワーク強化—

伊藤忠ロジスティクス株式会社(代表取締役:佐々和秀、以下「伊藤忠ロジスティクス」)のインドネシア現法である PT. ILC LOGISTICS INDONESIA(以下「PT.ILC」)は、インドネシア スルヤチプタ工業団地(インドネシア西ジャワ州カラワン県チアンペル)内、既存の第一物流センターに隣接して、床面積 6,541 m²の第二物流センターを新たに建設いたします。2017年10月の完成、営業開始を予定しております。この第二物流センター建設により、既存の第一物流センター他と併せ、インドネシア国内物流拠点は、37,000 m²を超える規模になります。

伊藤忠ロジスティクスは、経済成長著しいアジア地域を重要な市場として位置付けております。特にインドネシアは、世界第4位の2億4千万人の人口を有し、更なる市場の拡大が見込まれることから、物流機能・ネットワークの強化を進めてまいりました。

まず、1999年に国際フォワーディング事業の展開のため、PT.ITOCHU LOGISTICS INDONESIA を設立いたしました。次に2012年には、PT.ILC を設立、第一物流センターを建設し、センター運営事業に進出。そして、2016年に高い国内輸送能力を持つ PT.Bahana Prestasi 社(在インドネシア大手総合物流企業 PT.Cipta Mapan Logistik の100%子会社、以下「BP社」)への出資を実行し、同国における一貫物流体制を確立いたしました。

伊藤忠ロジスティクスは、顧客毎にきめ細かくカスタマイズして最適の物流サービスを提供することを得意とし、「食品・食材」「自動車」「生活消費財」「医薬品」等の分野において、輸出入に伴う海上・航空・陸上の輸送はもちろん、「コールドチェーン」「Eコマース・通販物流」「3PLオペレーション」といったビジネスモデルで強みを持つ総合物流企業です。インドネシアにおいても、20年来、積み重ねて参りました同国でのノウハウを活用し、顧客に最適な物流サービスを提供しております。日系大手消費財メーカーへは、工場向け資材の VMI や JIT 納入とともに、自社 WMS を提供することで、受発注・在庫情報をスムーズかつリアルタイムに共有でき、同社のグローバルサプライチェーンの形成に大きく寄与しております。自動車関連では、広く日系の自動車部品関連企業と取組を行い、生産部品・資材の輸出入とインドネシア内の物流において輸送形態に適した荷姿への再梱包や混載輸送による効率化、工場への JIT 納入などを行い、物流コストの削減に貢献しております。また、BP 社の国内物流ネットワークを活用して、購買力のある中間層の増大に伴い成長するインドネシア国内消費市場向けに、冷凍冷蔵の輸送サービス(コールドチェーン)を含めて、食品や消費財の提供に着手し、今後同分野の拡大を見込んでいます。商社系物流会社として、インドネシア市場へ進出しようという企業に対して、輸送や保管だけではなく、販売に関しても、パートナー

のセットアップを含めた幅広いサービスの提供ができることを強みとしております。

このように多様な顧客ニーズに対応し、物流機能・ネットワークの強化を推進してきた中で、特に地場における物流等の新規の引き合いが増えており、第一物流センターが手狭になっていることから、さらなる機能強化のため、第二物流センターの建設を実行いたします。今後も、重点分野である「食品・食材」「自動車」「医薬品」「生活消費財」を中心に顧客との取り組みを拡大し、市場の動向に合わせた機能強化を進めて参ります。

■ 第二物流センターの建設概要

(1)	建設予定地	スルヤチプタ工業団地(インドネシア西ジャワ州カラワン県チアンペル) ジャカルタ中心部から東 約 55km
(2)	構造	鉄筋コンクリート平屋(梁下 10m)
(3)	床面積	6,541 m ²
(4)	完成予定	2017 年 10 月
(5)	営業開始	2017 年 10 月
(6)	問い合わせ	伊藤忠ロジスティクス株式会社 グローバル本部 担当:古谷 TEL:03-6254-6033 E-mail: global2@itclogi.com

■ 完成予想図

